



花みずき



第18期 第2号
 発行者代表 松本奈美
 編集者 高橋典子

主 題 共にいてくださる主を信じて

*** 信仰と希望と愛 ***

主題聖句 それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。 コリントの信徒への手紙 一 13：13

巻頭言

シオン教会牧師 甲斐友朗

「輝いて生きる」



ルカによる福音書 9 章 29 節

「祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、服は真っ白に輝いた」

皆さんの周りに輝いている人はいますか。「輝いているなあ」、そういう人が皆さんの周りにもいるに違いありません。輝いている人とはどんな人でしょうか。たとえば、ステージでスポットライトを浴びているミュージシャンがそうです。また、昨年大活躍したラグビーの日本代表や、ノーベル賞を受賞した二人の日本人研究者も輝いて見えました。私たちは、有名な人、大活躍した人、成功した人を見ると、輝いて見えるのです。そして、今回与えられた御言葉を見てみると、イエス様も輝いていたことが分かります。しかし、イエス様はこの場面で、何かいいことがあったから輝いていたというのではないのです。この二節先には、「イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最期」という言葉があります。イエス様は、十字架での苦難や死を前にして輝いておられたのです。

いったい、苦難や死を前にして輝いている人がいるのでしょうか。普通、そうした人はいません。普通私たちは、苦難や死を前にすると、おびえます、びくびくします。とても輝いてなどいられません。にもかかわらず、イエス様は苦難や死を前にして輝いておられたのです。これは本当に不思議なことです。どうしてイエス様は、苦難や死を前にして輝いていることができたのでしょうか。それは、祈っておられたからです。

私たちは、輝いている人と言うと、活躍している人、成功を収めている人などを想像します。確かに、そうした人たちも輝いている人です。しかし、この与えられた御言葉は、そうした人でなくても輝いて生きていくことができるということを教えてくれます。たとえ病床にあるとしても、たとえ活躍していなくても、たとえ成功を収めていなくても、祈る人は輝いて生きていくことができるのです。



ACWC

関西委員：越後谷寿子（天王寺）・山川泰子（豊中）

★**ACWC（アジア教会婦人会議）とは？** 本部は韓国、第二次大戦後アメリカ長老派教会女性とアジア教会女性が「和解の旅」により共に理解と祈り、希望、課題の分かち合いのため超教派の組織を作りました。草の根の教会女性の働きです。2008年に創立50周年を迎えました。加盟国は2016年現在19ヶ国（国名リーフレット参照）4年に1回大会があります。★**ACWCJ（アジア教会婦人会議日本委員会）とは？** ACWC（前述）は当初はNCC（日本キリスト教協議会婦人委員会）が窓口でしたが教会を基盤とした組織が必要となり1979年に生まれ、1991年に関西支部が発足しました。関西支部参加教派（救世軍、在日大韓基督教会、日本基督教団、日本聖公会、日本福音ルーテル教会、日本バプテスト同盟、日本バプテスト連盟）7教派の超教派です。★**活動は？** 年に1度の一日研修会（DAY 礼拝、講演、聖研、賛美など）署名キャンペーン（各教会ごと一口100円の献金を募り本部に集められACWCの活動資金に使われる）リーストコインの献金（アジアの女性が始めた国際的運動で、すべての人が無理なく捧げられるようその国で一番小さい金額のお金がか用いられる。我が国は一円玉、献金は本部スイスに集められ世界各地で伝道と奉仕の業を助けています）★**アピールは？** 超教派としての活動ですが、他教派の方々と交わり、学び、祈り合い賛美できる恵みを感じつつ関西地区以外の方々にも機会が与えられることを願います。★**現状は？** どの教派も女性会員の高齢化は致し方ないことですが各教派委員2名の委員会構成ですが他教派は別としてルーテルは毎回選出に苦慮しています。課題として研修会のプログラム、進行方法、時間的なことは他教派からもでています。

“いつくしみ”

関西委員：初山 昭恵（京都）



★**“いつくしみ”って何？** ルーテル4教会（日本福音ルーテル教会、西日本福音ルーテル教会、近畿福音ルーテル教会、日本ルーテル教会）の女性たちの学びと交わりの場です。目的は、◆ルーテル教会の女性が共に交わり、◆霊的、社会的に成長し、宣教の良き担い手となり、◆アジアの教会の女性と共に祈り、交わり、理解を深め、◆若い女性と次代を担う子どもたちと共に成長しようとする ことにあります。

★**いつから活動しているの？** 1992年、関東と関西で国際的な女性会議が開かれました。APATS-JW（アパツ女性会議）です。ルーテル教会の女性が協力して行ったこの研修会を今後も続けたいと、この会に相応しい日本名が考えられました。それが“いつくしみ”です。この活動は、LWF（ルーテル世界連盟）の働きとしても位置づけられ、東アジアの女性たちとも交わりを育んできました。その後APELT-JWと名称が変わり、2007年にAPELTの活動が終息した後も、“いつくしみ”という呼び名で引き継いで活動していくことを確認しました。★**どんな組織？** 関東委員会と関西委員会があります。関東委員会は、日本福音ルーテル教会と日本ルーテル教団、関西委員会は、日本福音ルーテル教会、近畿福音ルーテル教会、西日本福音ルーテル教会の女性たちが参加しています。

★**どんなことをしているの？** 関西委員会は、ほぼ2年に一度研修会を開催しています。去年は、10月17日（土）に、持田明広先生（クリスチャン弁護士）をお迎えして研修会を行いました。関東委員会も、不定期ですが集会を持っています。今年9月に、ディアコニア研修会を開催予定です。

♪**“いつくしみ”の主題聖句は、「見よ、きょうだいと共に座っている。なんという恵み、なんという喜び。」**
（詩編133：1）

★**関東・関西以外の教区・地区の皆さまにも、理解を深めていただけるよう、情報発信に努めていきたいと思ひます。お祈りに覚えて下さいますように。**

釜ヶ崎ディアコニア・センター喜望の家 Q&A 責任者 永吉秀人 (天王寺教会牧師)

★喜望の家はどうして生まれたの？ ドイツのミッドナイト・ミッションから派遣されたエリザベート・ストローム宣教師は、滞在10年目の1963年、釜ヶ崎に隣接する地域で保育所を始めます。1974年頃からアルコール問題と関わり、1975年に断酒サークル「むすび会」を結成、1976年1月に古い倉庫を購入、同年11月に「喜望の家」が開設されました。日本福音ルーテル教会としては、1975年に全国的なバックアップとして西教区に釜ヶ崎委員会を設置、1977年に重野信之牧師を派遣。その後、白石郁夫牧師、村松由起夫牧師、ボド・ワルター宣教師、秋山仁牧師、小勝奈保子牧師が歴任し、現在に至ります。★いつ建てられたの？ 現在の建物は、1981年に計画が始まり、日本福音ルーテル教会とドイツ・ブラウンシュヴァイク領邦教会が協力し、LWFの支援を仰いで、1984年に完成しました。★どこにあるの？ 大阪市西成区。通称「釜ヶ崎」と呼ばれる日雇い労働者の町は、大阪南部の通天閣やあべのハルカスに隣接する0.7平方kmの地域で、そこに建っています。★どんな施設なの？ むすび会を通してアルコール問題への対応をしてきましたが、1986年からアルコール依存症のセラピストであるボド・ワルター宣教師により自立生活支援プログラムを導入し、入院治療に代わる社会的リハビリテーションを目的としています。★特徴は何ですか？ プログラムの内容は、小グループによるミーティングと個人面談、自分史や陶芸、紙すきなどの作業療法です。その他の楽しみとして、お菓子作り、リクレーション、映画鑑賞、釣り、温泉一泊旅行、衣料の路上バザーなどもしています。★大事にされていることは何ですか？ 互いに助け合う行動と思いやる心です。今日の喜びが明日を楽しみにしてくれます。★アピール？ 喜望の家は収益部や法人格を持たず、100%献金で運営されています。皆様からの支援がすべてであり、活動の力です。お支えに心から感謝しています。



三原教会女性会

*活動として月一回(第二水曜日)連盟発行の聖書研究を中心に例会を持っています。会員は11名ですが9名は70才以上の高齢者です。聖書研究は女性会の大切な活動であり月当番が決まっていますので、それなりに勉強をしなければなりません。年齢が高い我々にとっては聖書を読み話し合うことは脳の働きを活発にする良い機会だと思っています。先輩たちが連綿として受け継いで下さった事に感謝します。今年も目標を決め健康寿命を少しでも延ばせればと願いながら……。

- 自然とのふれあいを大切に!! (太陽の恵みを浴びる 景色を眺める など)
- 年中行事を取り入れて楽しむ!! (桃の節句 端午の節句 など)
- 今年も教会につながる方々の誕生日を覚え葉書にお祝いの寄せ書きをする

教会員としてお互いに力を合わせ
助け合いそして楽しい会として
これからも励んでいきます。

澤山 雅子



若き(?)女性会の皆様

シオン教会柳井チャペル女性会は7名の小さな集まりです。女性会例会は三か月に一度、教会の外に出掛けて、連盟のしおりに沿って聖書を学び、讚美歌を歌って、コーヒー、お菓子をいただきながら、いろいろな近況報告、雑談等をしながら、楽しく行っています。奉仕は毎週の会堂の掃除、献花は当番表より行っています。礼拝後のお茶等の準備、ふれあいショップ一粒の麦のサポート、掲示板の毎週の礼拝案内、教会外回りの花壇の手入れ等も行っています。また、週一回の聖書の学びに出席し、会員外の方との交わりを楽しんでいます。小さな集まりですが、一人一人の奉仕で頑張っています。また、若い婦人を迎え、少し若い女性会になりました。これからも楽しく、奉仕、交わりができますように。

会長 部屋すみ子



柳井教会女性会



楽楽(らら)



たまごっち



宇部教会女性会



宇部教会の女性会は、人数が少ない上に殆どの会員が70才代以上という群れですが、ヤル気満々の方々ばかりです。

2月21日に総会を行い、次の2点が新しく決まりました。

- ① 毎月連盟会報しおりによる聖研の後、今年からはお茶菓子などを用意し、机の配置なども工夫して、皆の顔を見ながら意見や感想、近況報告などがしやすい雰囲気づくりをする。
- ② 女性会主催の花見の会など男性を巻き込んだイベントを催す。要するに、今までよりももっと親しみの持てる会を目指します。聖壇の準備や、毎週のおうどんによる愛餐の奉仕等々、女性会は大切な奉仕を担っておりますが、忘れてならないのが、2013年度から女性会が始めた、毎週礼拝後のミニバザーです。年を追うごとに、献品して下さる方が増え、売り上げは、献金や支援、女性会活動の為に用いられています。一人一人は、土の器のような者ですが、こんな私たちを用いて下さる神様に感謝して、これからも、皆で支え合い、力を出し合ってゆきたいと考えています。

会長 八田順子

岡山教会女性会

岡山教会の女性会は試行錯誤の末に一年間の休会、そして2015年3月より例会を第3日曜日の礼拝後に行うことに決め、今に至っています。

これにより、長らく教会員であり乍、有職の為、女性会に全く係われなかった方々が入会されました。又、会員以外の教会員が少数ですが例会に参加されるようになりました、とても有難く感謝いっぱいです。更に初めて入会の或る方が「参加することによって、自分が献金（月500円の会費のことです）を通して、日本各地、更に世界とつながっていることを思い幸せです」と述べられたことがいつも心から離れません。

高松屋厚子



メロディー



修学院教会女性会



修学院教会は、豊かな緑あふれる比叡山のふもと修学院離宮へ向かう道沿いに建てられています。自然いっぱい、お年寄りはもちろん子どもや家族連れが多く住み、とても落ち着いた地域です。活動としては、春のイースターでは桜の木の下でバーベキュー、5月の新緑の頃には小泉小枝さんのご自宅である「虹の家」でバーベキュー、8月は修養会、11月は関連施設である社会福祉法人修光学園での修光祭に参加、12月にはクリスマス祝会など。月に一度第3日曜日に女性会を開いています。毎回お料理等を持ち寄り形式にしていて、その度にそれぞれの家庭の味を頂けるのも楽しみの一つとなっています。私たち修学院教会女性会のメンバーは、パワフルで明るく話題も豊富、集まるととても励みになるお話が聞けて、いつも楽しいひとときを持っています。現役でお仕事をされている方や子育てをされている方がいたりと比較的若い方が多く、その分関西や全国の集まりに参加出来にくいのが残念なところですが、働いているが故に、自分の出来ることを出来る範囲でやりつつ、お互いを支え合っている素敵な女性会です。

宮本陽子

ひらきなおる
開木直氏による

「たいして役に立たない
宗教改革 500 年企画」



「マルティンとケーテ」(その②)

宗教改革者としての自己理解をルター先生が確立したのが、1525年6月13日、芳紀まさに26歳の修道女カタリーナ・フォン・ボラと結婚した時です。二人のなれそめは、二年前のイースター前夜にさかのぼります。瞬く間に広がった宗教改革運動に共鳴して、ルターの町ヴィッテンベルクの南約百キロにある小村ニムシェンのシトー会女子修道院から9名(12名の説あり)の修道女が脱走します。脱走者も幫助者も重罪の時代、鯁の塩漬けの空き樽に隠れての命がけの脱出行、めざすはヴィッテンベルクです。共に脱出した他の修道女たちは、すぐ結婚相手が見つかりますが、それを見送る姉御肌?の彼女は残ります。結婚するならルター先生、と想い定めていたかどうかは分かりませんが、その辺の若造との結婚では妥協しなかったのでしょうか。「フォン」が付く名前から分かるように、彼女は没落したとはいえ、ザクセンの貴族の家に生まれました。幼くして両親と死別、4歳頃から修道院で生活して教育を受けます。15歳で正式の修道女となり、脱出した時は23歳でした。ルター先生が結婚を決意するのも一大事です。修道女であった彼女も大きな決断だったでしょう。我先に結婚していく仲間を見送りつつ、ひとかどの貴族出身の修道女にとっても、ルター先生との結婚は、彼女なりの大きな信仰表明となりました。さてここで、彼女ケーテ(カタリーナの愛称)が、夫マルティンとの結婚を決意し、一生支えようと思った大きな要因を推理します。実は、カタリーナは修道院時代、ビール醸造法を学び実践して「醸造技師」の資格を取得した、れっきとしたBräumeisterin(公認女性醸造親方職人)でした。ルター先生といえば無類のビール好きで有名です(これについての逸話は後続予定)。自分の持つ最善の技術・技量で彼を支えたい、そう思わなかったはずがないのです。ルター先生はその後、様々なビールの寄贈を各地から受けますが、いつも愛妻ケーテが造るビールを一番に所望したそうです。(続く)



第23回 春の全国 Teens キャンプ

2016年 3月28日～30日 神戸市立自然の家

テーマ：聖霊 ～振り返れば神様の導き～

3月28日～30日、神戸市立自然の家へ全国から98名ものteensが集まり、聖霊について学び、話し、証しました。西教区からは18名もの参加者がありました。その中から数名の感想をお届けします。

* 僕にとって聖霊は目には見えないけど必ずどこかに存在しているイメージが抱けるようになりました。…今回の春キャンで聖霊から与えられた賜物をこれから大切にしていくために自分ができることは何かを考え、それを強く意識して生きていきたいと思いました。来年も参加したいです。WN(京都)

* 聖霊は風や息のように実際に目で見ることにはできなくても確かに強い力を持つものだと思います。ただ、風の力はすぐにその場で感じることはできますが、聖霊は今ここで力がはたらいていると意識することは難しいものだと思います。…今回で卒業ですが、春キャンに来ることができて幸せでした！春キャン最高！！KK(神戸)

* 聖霊についてあまりよくわかりませんでした。でも、聖書の中から探してみるとけっこうたくさん聖霊や霊という言葉がたくさん出てきた。…聖霊とは自分を将来へ導いてくれるもの、だと思った。…来年も春キャンに参加したいです。YY(天王寺)



	3月28日(月)	3月29日(火)	3月30日(水)
6:00			起床・朝禱・朝食
7:00		起床・朝禱・朝食	
9:00		プログラム②・③	まとめ・感想文
10:00			春キャン卒業式
11:00		昼食・自由時間等	派遣礼拝・交わりタイム
12:00			昼食
14:00	集合・アイスブレイク	バラエティショー	バス出発・解散
15:00		プログラム④	
16:00			
17:00	開会礼拝		
18:00	夕食・入浴	夕食・入浴	
19:00		プログラム⑤・晩禱	
20:00	プログラム①		
22:00	消灯・就寝	消灯・就寝	



- * 聖霊のことについて色々なことを学びました。みんなの思っていることもたくさん聞けました。…春キャン2回目の参加で初めて会う友だちも昔から知っているような感じで3日間ずっと笑って過ごせました。今回感じたことは、春キャンのメンバーは家族みたいな存在だということです。M.Y(厚狭)
- * 聖霊について、リーダーの話を聞いて聖霊は思っていなかったことがおこるってことがわかりました。今年の春キャンは自分のグループの人といっぱいしゃべることができてよかったです。これからも会話をひろげていきたいと思っています。…S.N(京都)
- * 聖霊は私達を導いてくれるものだと知りました。現れ方はその場面で人によってそれぞれ違うと思いました。…春キャンでたくさんの仲間に出会えたことも聖霊のはたらきなのかなあ、…春キャンに初めて参加したけど、同じなやみや不安をもっている人…に出会えて本当によかったです。来年もまた参加したいです。M.T(豊中)
- * 聖霊についてみんなの意見を聞いて、自分たちを守ってくれる→支えてくれる というイメージに変わりました。…風と同じで見えないけど私たちを支えたり守ってくれているものだと感じました。聖霊や神様のことを感じられるように教会に行こうと思います。Y.H(豊中)
- * 聖霊は、目に見えるわけではないけど存在する確かなものです。見えないけれど、いつも私たちを見守ってくれていると思いました。…初めて春キャンに来ましたが、皆優しく、明るく、とても楽しい人達でした。…全国各地に友だちができてうれしいです。N.H(神戸)



2015年決算報告及び2016年予算

項目	2015年		摘要	2016年	連盟へ送金	
	予算	決算		補正予算	項目	金額
教区会費	253,200	253,800	1,200円×211.5名	250,800	連盟会費	549,900
教区指定献金	100,000	146,540		150,000	会報購読費	37,250
補助金	50,000	50,000	西教区から	50,000	連盟指定献金	48,600
雑収入	49	113	預金利息	40	感謝献金	188,400
希望の家支援				140,000	サバ神学生支援	75,000
青少年育成支援			2016年より新設	70,000	リストコイン	47,758
るうてるホーム支援				50,000	署名キャンペーン	11,560
繰入金		104,249	総会費用残高		合計	958,468
前年度繰越金	45,151	45,151		141,574	希望の家支援金	147,000
合計	448,400	599,853		852,414		
役員会費	150,000	145,085	役員会交通費	100,000	青少年育成支援金	
通信費	20,000	5,248	切手・はがき等	15,000	前年度繰越金	228,549
文書費	30,000	10,276	用紙・印刷・コピー代	25,000	献金17教会	65,800
活動費	150,000	197,670	地区連絡会交通費	217,600	合計	294,349
慶弔交際費					子どもキャンプ補助	9,000
花みずき集い補助				40,000	厚狭きららキャンプ補助	20,000
希望の家支援				140,000	次年度繰越金	265,349
青少年育成支援			2016年より新設	70,000	合計	294,349
るうてるホーム支援				50,000		
総会費用積立金繰出	98,400	100,000	定額貯金へ	100,000	総会費用積立金	100,000
次年度繰越金	0	141,574		94,814		
合計	448,400	599,853		852,414		

お知らせ

今後の予定

- 5月：地区花みずきの集い
- 6月：連盟拡大役員会
- 8月：地区連絡会ご案内
- 10月：花みずき発行・地区連絡会・役員会・後期会費納入願い発送

会長からの一言：「聖書日課」には、その日の聖書箇所、讃美歌番号、短いメッセージ、お祈りがB5サイズ小の1ページにまとめられています。み言葉に聴く一時をもつことで私たちは養われます。そして、このお祈りは各教会のためのお祈りです。教区女性会総会で話し合われた「祈りによるつながり」、ご一緒に実践していきましょう。

第2号は少し要領を得ることができ編集することが出来ました。皆様のご協力を感謝致します。 高橋

ひらり

召天された姉妹(2015年1月1日～12月31日)			
氏名	年齢	召天年月日	所属教会
姥迫キクエ	93	1月15日	三原
水谷紀子	73	1月21日	天王寺
市河淳子	94	3月29日	下関
犬飼雅子	83	7月11日	大阪
宗像弘子	75	7月29日	神戸東
黒住俊子	93	10月7日	岡山
新宮幸子	78	10月20日	松江
木野マツエ	90	10月21日	豊中
大森隆子	99	11月10日	京都
小林征子	72	11月18日	神戸